

長崎県地方協議会における検討テーマについて

九州運輸局長崎運輸支局

令和元年10月18日

【28年度】業務工程変更と高速利用拡大による拘束時間削減を目的とする実証実験

【概要】

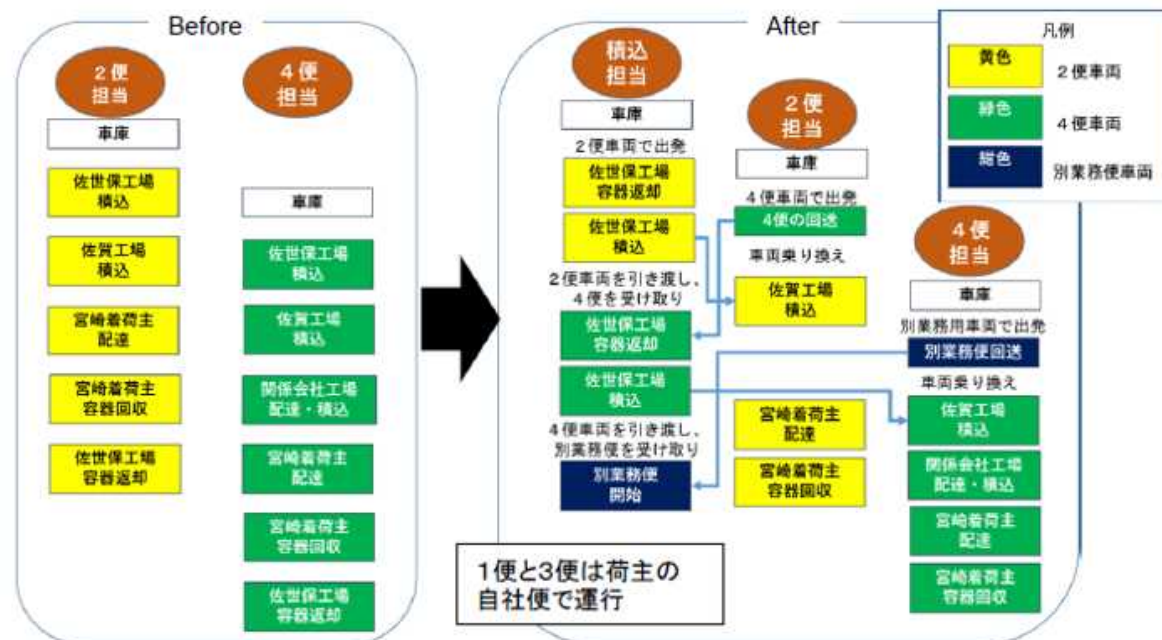
パン工場の積荷を、佐世保工場において積込担当の運転手が大型2台の積込みと空容器返却の業務を行う。佐世保工場出発以降は別の運転手が引き継ぐ。積込担当の運転手は最後に短時間の別業務を実施して作業終了。また、高速道路の利用区間についても、従来通り利用した場合と拡大した場合で労働時間を比較する。

【結果】

- ・ 拘束時間が最大で2時間10分短縮。
- ・ 運転手の荷扱いによる作業負荷が軽減され、疲労感の軽減を実現。
- ・ 運転に集中できるため、デジタコでの運転手の安全運転評価も向上。
- ・ 運転手の感想としても、一般道の走行に比べて、高速道路での運行の方がヒヤリハットの経験が減少。

【課題】

- ・ 宮崎県の下ろし先では、当該荷物を受けてさらに県下への配送があるため、定められた時間に到着しなければならず、全体的に厳しい運行計画であった。
- ・ 15時間を超える拘束を短縮するため、深夜作業となる空容器の返却に、応援の作業員を派遣していた。
- ・ 積込担当の運転手の人件費については、実証実験では運送事業者が負担したが、継続的に実施するにあたっては、費用について発荷主と運送事業者のどちらが負担すべきか調整する必要がある。



【29年度】一貫パレチゼーションと中継輸送による労働時間の短縮を目的とする実証実験

【概要】

J Aの青果物を、これまではJ Aのパレットからトラック事業者のパレットに積み替えて市場まで運送・荷下ろしを行っていたものを、運送事業者がパレットを作成し、J Aと市場の協力を得て、選果場から市場までの一貫パレチゼーションを実現。

また、集荷、運行、配達をワークシェアリングで分担し、自社内中継輸送を実施。

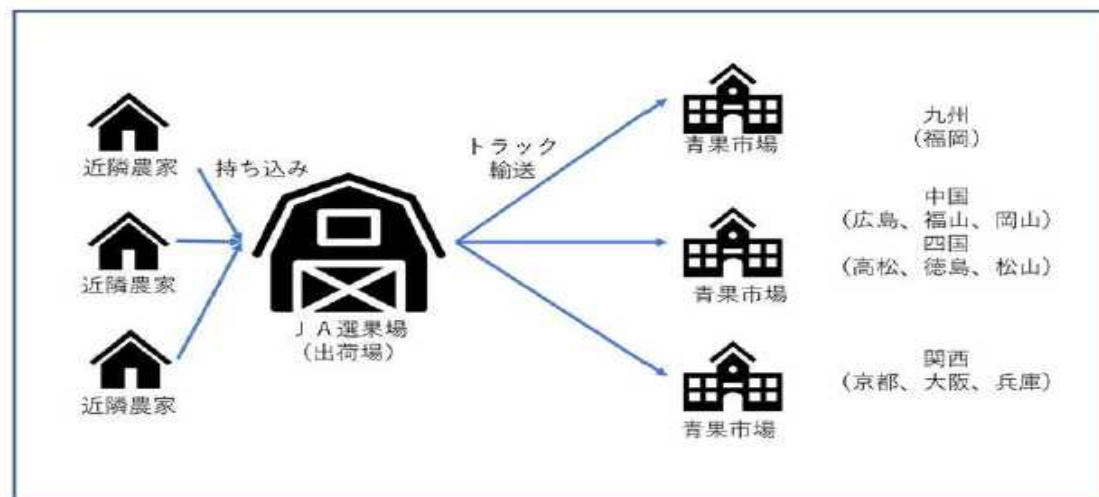
【結果】

- ・パレット化による集荷、配達時間の短縮。
- ・市場では、パレット下ろしの場合優先して荷下ろしができ、手待ちも発生していない。
- ・3人の運転手全てが改善基準告示を遵守して運行したが、4日運行が3日運行に短縮した。
- ・運転手は関西の自社営業所で休息を取り、車中泊ではないため、体への負担が軽減された。

【課題】

- ・パレット崩しの手荷役となっているため、**【一貫パレチゼーションの実施】**に多くの人手を要している。
- ・下ろしの際には運転手一人で手荷役を行わなければならない、時間を要している。
- ・2箇所下ろしの場合、下ろし時間が遅いため、2日目に帰り荷を積む時間がない。

【一貫パレチゼーションの実施】



令和元年度の「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」の実施事項について

(令和元年8月9日 厚労省労働条件政策課長、同監督課長、国交省貨物課長 通達)

平成30年度より、**特に荷待ち時間が特に長い輸送分野（加工食品、建設資材、紙・パルプ）**。以下「対象輸送分野」という。）について、それぞれの分野ごとにサプライチェーン全体における効率化及びトラックドライバーの労働時間の改善を図るため、関係荷主、トラック運送事業者、学識経験者等から構成される懇談会を開催している。

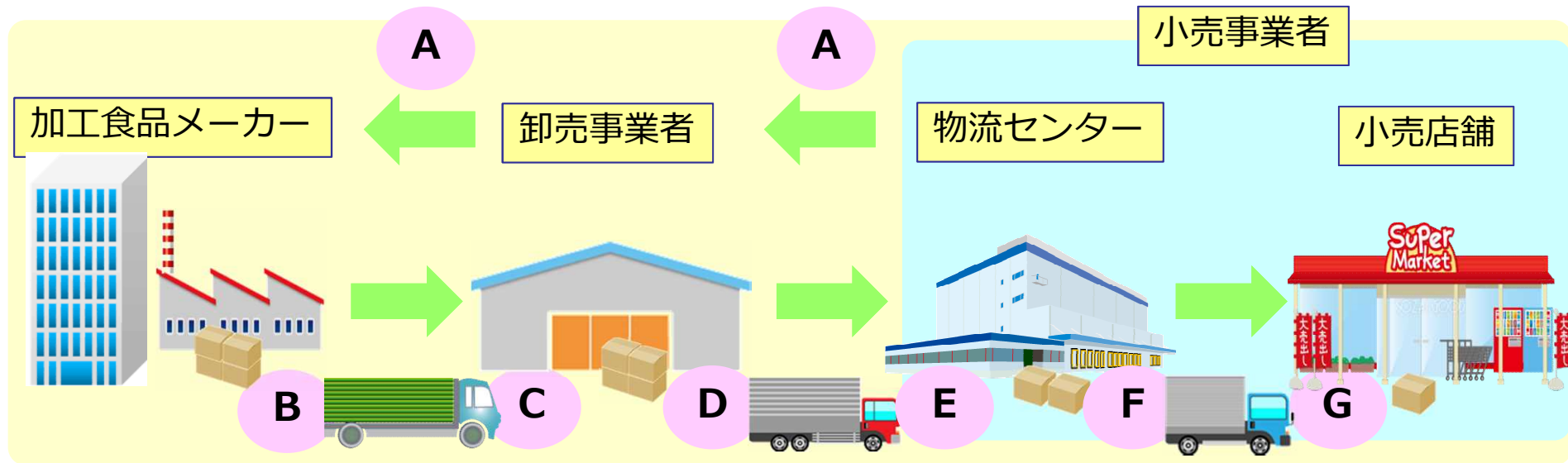
各懇談会では、平成30年度は主に課題の洗い出しや解決の方向性のイメージの共有等を行ったところであり、令和元年度は、平成30年度の各懇談会での議論を踏まえて具体的な解決方策を見出していくこととしている。

対象輸送分野において本省レベルで洗い出した課題の発生箇所やその解決のための施策等については、**各地方レベルにおいても各地方の実情を踏まえながら普及・展開していくことが重要**である。

については、今年度の地方協議会の重点実施事項として、対象輸送分野における課題の整理や改善策の検討等を進める。



対象輸送分野の中から **1つ以上検討するテーマを選定**



発生個所 A・B・D

【小売・卸発注時、メーカー・卸出荷時】

- ・発注から短期間での納品、特定の日に物量が集中
⇒ **【受発注条件の見直し】**

リードタイムの延長、事前出荷情報の提供、波動の平準化、受給調整在庫の確保

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・荷卸し場所の処理能力や車両集中に起因する待ち時間の発生
⇒ **【荷待ち時間の削減】**

先着順から予約制への変更、時間指定の柔軟化

発生個所 B・C・D・E

【メーカー・卸荷積み時、卸・物流センター荷卸し時】

- ・荷積み・荷卸し時に長時間の荷役作業が発生
⇒ **【荷役時間の削減】**

バラ積み貨物のパレット化、パレットサイズの統一、外装段ボールサイズの見直し

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・業界の慣習や目視等による長時間の検品作業
⇒ **【検品時間の削減】**

3分の1ルールの見直し徹底、年月日表記から年月表記への変更、事前出荷情報の提供とQRコード等への情報の組み込み、統一伝票や段ボールなどへの表記の標準化

輸送量・輸送頻度

建設資材、紙・パルプ < 加工食品

【28年度パイロット事業】

業務工程変更と高速利用拡大による拘束時間削減を目的とする実証実験

※加工食品（パン）の配送

【29年度パイロット事業】

一貫パレチゼーションと中継輸送による労働時間の短縮を目的とする実証実験

※統一パレット



各パイロット事業の結果・課題と、加工食品の課題である、受発注条件、荷待ち時間、検品時間等が、農産物・水産物輸送にかかる課題を検討していく上でも参考となり得ることから、「加工食品」を検討テーマとする。